

2025年3月期 決算説明資料

2025年5月9日(金)

 **愛知時計電機株式会社**

証券コード: 7723

1. 会社概要

2. 2025年3月期 連結決算概況

3. 2026年3月期 連結業績予想

4. 中期経営計画2026の進捗

1. 会社概要

会社名	愛知時計電機株式会社
創立	1898年(明治31年)7月 <創立126年>
代表取締役社長	國島 賢治
所在地	名古屋市熱田区千年一丁目2番70号
資本金	32億18百万円
従業員数	連結 1,704名(単体 1,177名)
拠点	国内 支店・営業所 23拠点 / 工場 7拠点 海外 2拠点
連結子会社	5社 (国内3社、海外2社)
事業内容	ガスメーター、水道メーター、計測機器及び計測システムの 開発・製造・販売

事業の構成(売上高ベース)

ガス関連機器



48.8%
264億円
(2025年3月期)



- ガスメーター
(都市ガス用・LPガス用)
- クラウドサービス、圧力機器

主要顧客

都市ガス会社
LPガス会社

水道関連機器



34.7%
188億円
(2025年3月期)

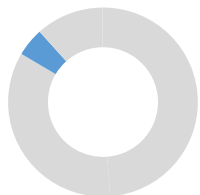


- 水道メーター
- 積算熱量計、検針システム
- クラウドサービス

主要顧客

水道事業体
建築設備会社
管理会社

民需センサー・システム



4.8%
26億円
(2025年3月期)

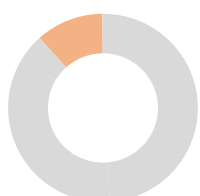


- 超音波流量計
- 小型流量センサー

主要顧客

工場
産業用・医療用
装置メーカー

計装



11.5%
62億円
(2025年3月期)



- 電磁流量計
- 水位計
- 監視・制御システム
※施工・メンテナンス含む

主要顧客

官公庁
(上下水道施設、
農業用水施設など)

2. 2025年3月期 連結決算概況

増収増益、売上高・各利益(営業利益除く)は過去最高を更新

- ◆ 売上高は国内の販売好調により6.0%増収
- ◆ 原材料価格の上昇や売上製品構成の影響を受けたものの、前期計上の不具合対策費用がなくなったことから、営業利益は8.9%増益。経常利益は有価証券売却益の増加などにより11.7%増益 (百万円)

	2024/3	2025/3		
		実績	対前期	
			増減	%
売上高	51,225	54,286	3,060	6.0%
売上原価	39,234	41,902	2,667	6.8%
売上総利益 (売上総利益率)	11,990 (23.4%)	12,383 (22.8%)	393	3.3%
販管費	8,373	8,443	70	0.8%
営業利益 (営業利益率)	3,617 (7.1%)	3,940 (7.3%)	322	8.9%
経常利益	4,265	4,764	498	11.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,174	3,533	359	11.3%

事業部門別売上高

民需センサー・システムを除き、各分野とも前期を上回る

- ◆ ガス関連機器は都市ガススマートメーターへの切り替えが進み8.5%増収
- ◆ 水道関連器機器は国内市場・海外市場ともに堅調に推移し6.5%増収
- ◆ 民需センサー・システムは国内は増加したものの、海外向け流量センサーが減少し14.3%減収
- ◆ 計装は堅調な受注を背景に4.4%増収

(百万円)

	2024/3	2025/3		
		実績	対前期	
			増減	%
計測器関連事業				
ガス関連機器	24,397	26,479	2,082	8.5%
水道関連機器	17,706	18,854	1,148	6.5%
民需センサー・システム	3,072	2,631	△440	△14.3%
計装	6,001	6,265	263	4.4%
計測器関連事業合計	51,177	54,231	3,053	6.0%
特機関連事業				
特機	47	55	7	15.9%
合計	51,225	54,286	3,060	6.0%

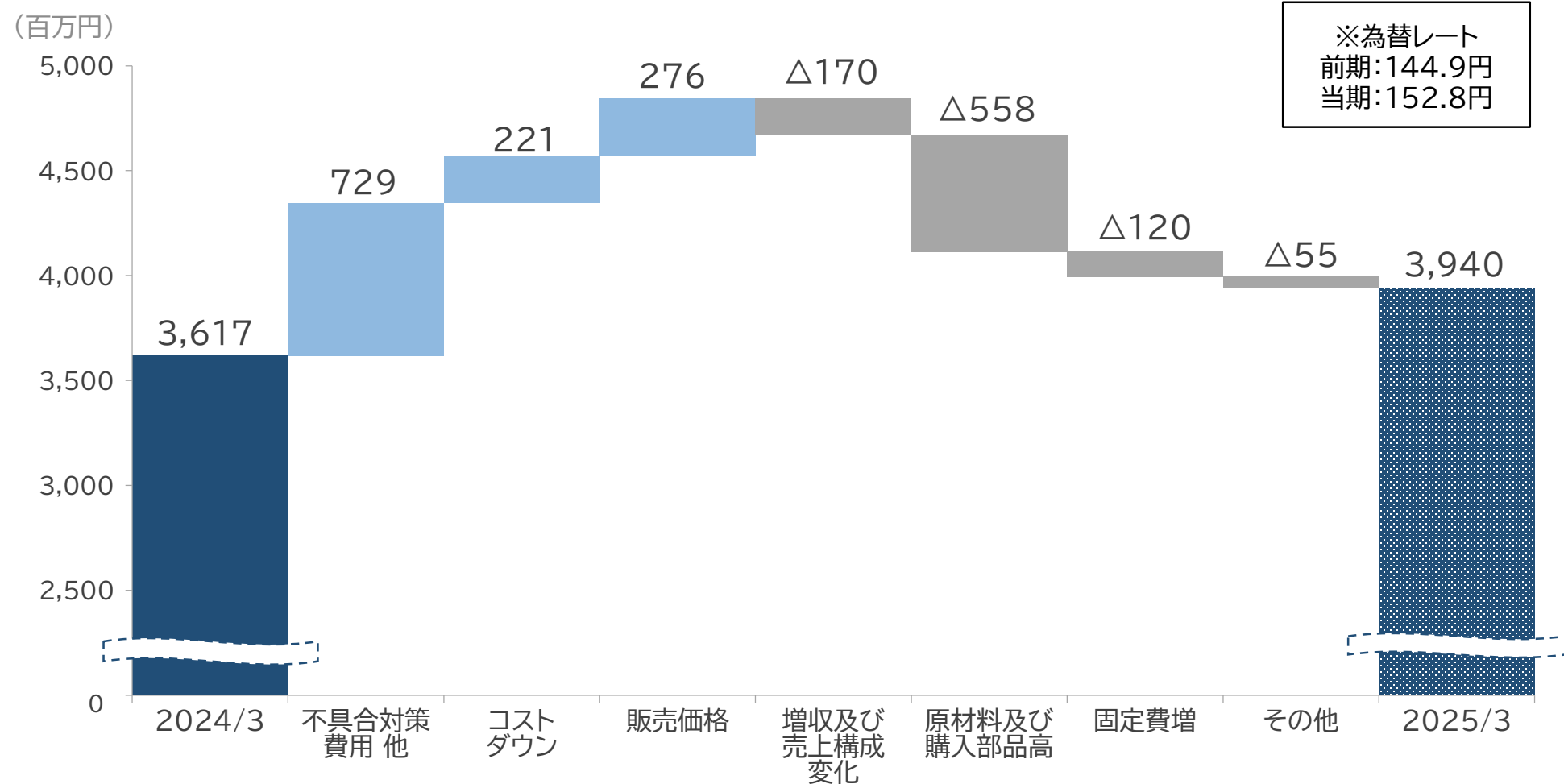
アジアは増加したものの、海外全体では減収

- ◆ 国内は都市ガススマートメーターや水道メーターを中心に7.1%増収
- ◆ アジアは中国景気悪化の影響により中国向けが減少したものの、台湾向けガスメーターおよびASEAN向け水道メーターが増加し4.1%増収
- ◆ 欧米は北米向け水道メーターが増加したものの、欧州向け流量センサーが減少し25.3%減収 (百万円)

	2024/3	2025/3		
		実績	対前期	
			増減	%
国内	47,133	50,480	3,346	7.1%
海外	4,091	3,806	△285	△7.0%
アジア・オセアニア	2,553	2,657	104	4.1%
欧米ほか	1,538	1,148	△389	△25.3%

営業利益増減要因分析

【営業利益増減要因】



貸借対照表(資産)

- ◆ 資産合計は13億2千万円の増加
- ◆ 棚卸資産の増加などにより、流動資産が1億1百万円増加
- ◆ 設備投資の増加により、有形固定資産が7億5千1百万円増加
- ◆ 繰延税金資産の増加などにより、投資その他の資産が4億7千5百万円増加

(百万円)

	2024/3末	2025/3末	
		実績	対前期末
			増減
流動資産	38,088	38,190	101
固定資産	23,311	24,530	1,219
有形固定資産	8,342	9,094	751
無形固定資産	75	67	△8
投資その他の資産	14,893	15,368	475
資産合計	61,399	62,720	1,320

貸借対照表(負債・純資産)

- ◆ 仕入債務、未払費用の減少などにより流動負債が10億1千8百万円減少
- ◆ 利益剰余金の増加などにより純資産は26億2千9百万円増加

(百万円)

	2024/3末	2025/3末	
		実績	対前期末
			増減
流動負債	12,273	11,255	△1,018
固定負債	4,966	4,676	△289
負債合計	17,239	15,931	△1,308
株主資本	37,738	40,278	2,539
資本金	3,218	3,218	—
資本剰余金	311	322	10
利益剰余金	34,308	36,796	2,488
自己株式	△99	△59	40
その他包括利益累計額	6,415	6,510	95
新株予約権	5	—	△5
純資産合計	44,159	46,789	2,629
負債純資産合計	61,399	62,720	1,320

キャッシュ・フロー

- ◆ フリーキャッシュフローは25億9千4百万円、定期預金の解約もあり、現金及び現金同等物は14億3千7百万円増加

(百万円)

	2024/3	2025/3		主な増減要因
		実績	対前期 増減	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,742	1,856	113	棚卸資産の増加減 1,590 未払費用の減少 他 Δ1,764
投資活動によるキャッシュ・フロー	Δ1,092	738	1,830	定期預金の減少 2,001 有形固定資産の取得による 支出増 Δ381
財務活動によるキャッシュ・フロー	Δ1,176	Δ1,347	Δ170	短期借入金の減少 Δ158
現金及び現金同等物に係る換算差額	250	189	Δ60	
現金及び現金同等物の増減額	Δ275	1,437	1,712	
現金及び現金同等物の期首残高	8,847	8,572	Δ275	
現金及び現金同等物の期末残高	8,572	10,009	1,437	

3. 2026年3月期 連結業績予想

増収増益、売上・各利益ともに過去最高の更新を目指す

- ◆ 各分野の堅調な受注を背景に売上高は4.9%の増収を見込む
- ◆ 原材料・部品調達価格や人件費など諸費用の上昇が見込まれるものの、増収及び売上製品構成の変化により、各利益とも増益。営業利益は17.0%増益を見込む

(百万円)

	2025/3	2026/3		
		予想	対前期	
			増減	%
売上高	54,286	56,920	2,633	4.9%
営業利益 (営業利益率)	3,940 (7.3%)	4,610 (8.1%)	669	17.0%
経常利益	4,764	5,010	245	5.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,533	3,670	136	3.9%

事業部門別売上高予想

計装を中心に各分野で増収を見込む

- ◆ ガス関連機器は家庭用プロパンガスメーターの更新需要が回復期に入ることに加え、都市ガス版アイチクラウドの開始などにより1.4%増収を見込む
- ◆ 水道関連機器、民需センサー・システムは国内外の堅調な受注により増収を見込む
- ◆ 計装分野は堅調な受注に加え、前期受注物件の完工により19.2%の大幅増収を見込む

(百万円)

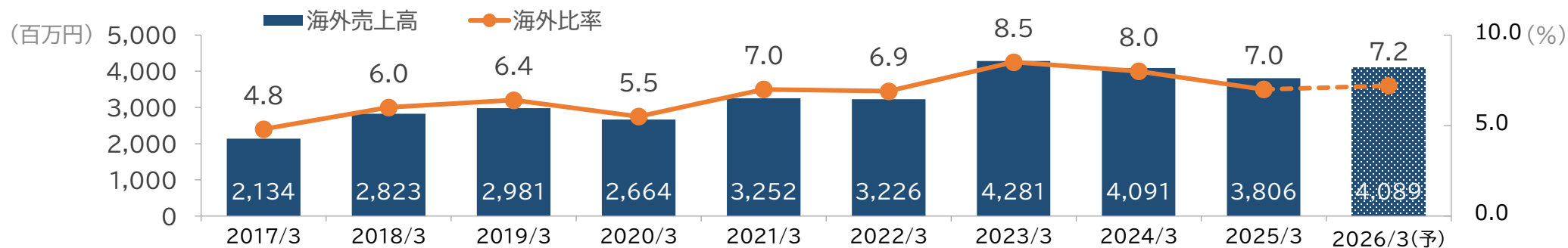
	2025/3	2026/3		
		予想	対前期	
			増減	%
計測器関連事業				
ガス関連機器	26,479	26,840	360	1.4%
水道関連機器	18,854	19,720	865	4.6%
民需センサー・システム	2,631	2,830	198	7.5%
計装	6,265	7,470	1,204	19.2%
計測器関連事業合計	54,231	56,860	2,628	4.8%
特機関連事業				
特機	55	60	4	8.5%
合計	54,286	56,920	2,633	4.9%

海外はアジア・欧米ともに増加の見込み

- ◆ アジアは中国(深圳)の合併会社向け都市ガスメーターが増加するほか、中国向け水道メーターの増加などにより1.3%の増収を見込む
- ◆ 欧米は北米向け水道メーターおよび欧州向け流量センサーの増加により21.7%の増収を見込む

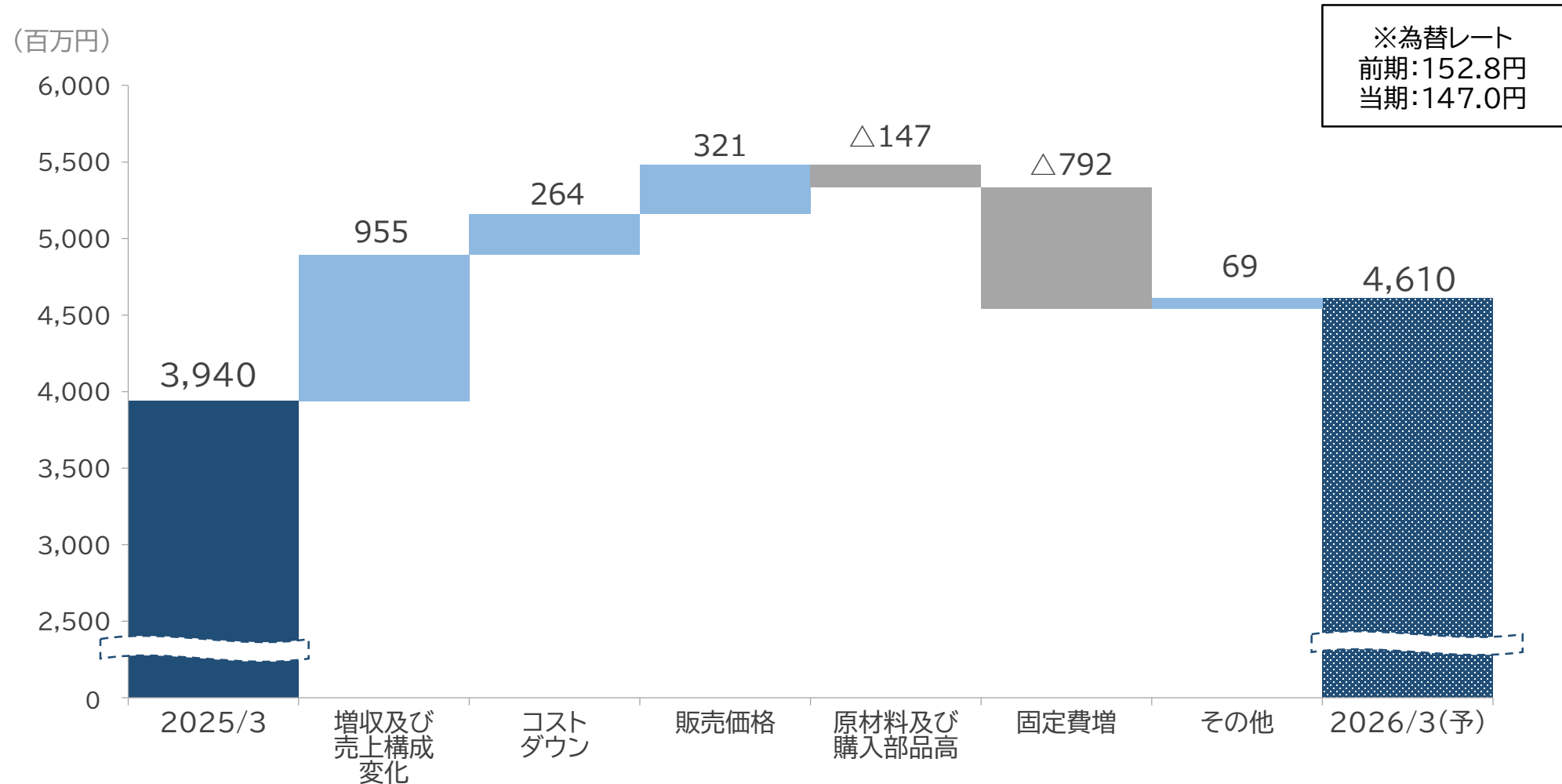
(百万円)

	2025/3	2026/3		
		予想	対前期	
			増減	%
国内	50,480	52,832	2,351	4.7%
海外	3,806	4,089	282	7.4%
アジア・オセアニア	2,657	2,691	33	1.3%
欧米ほか	1,148	1,398	249	21.7%



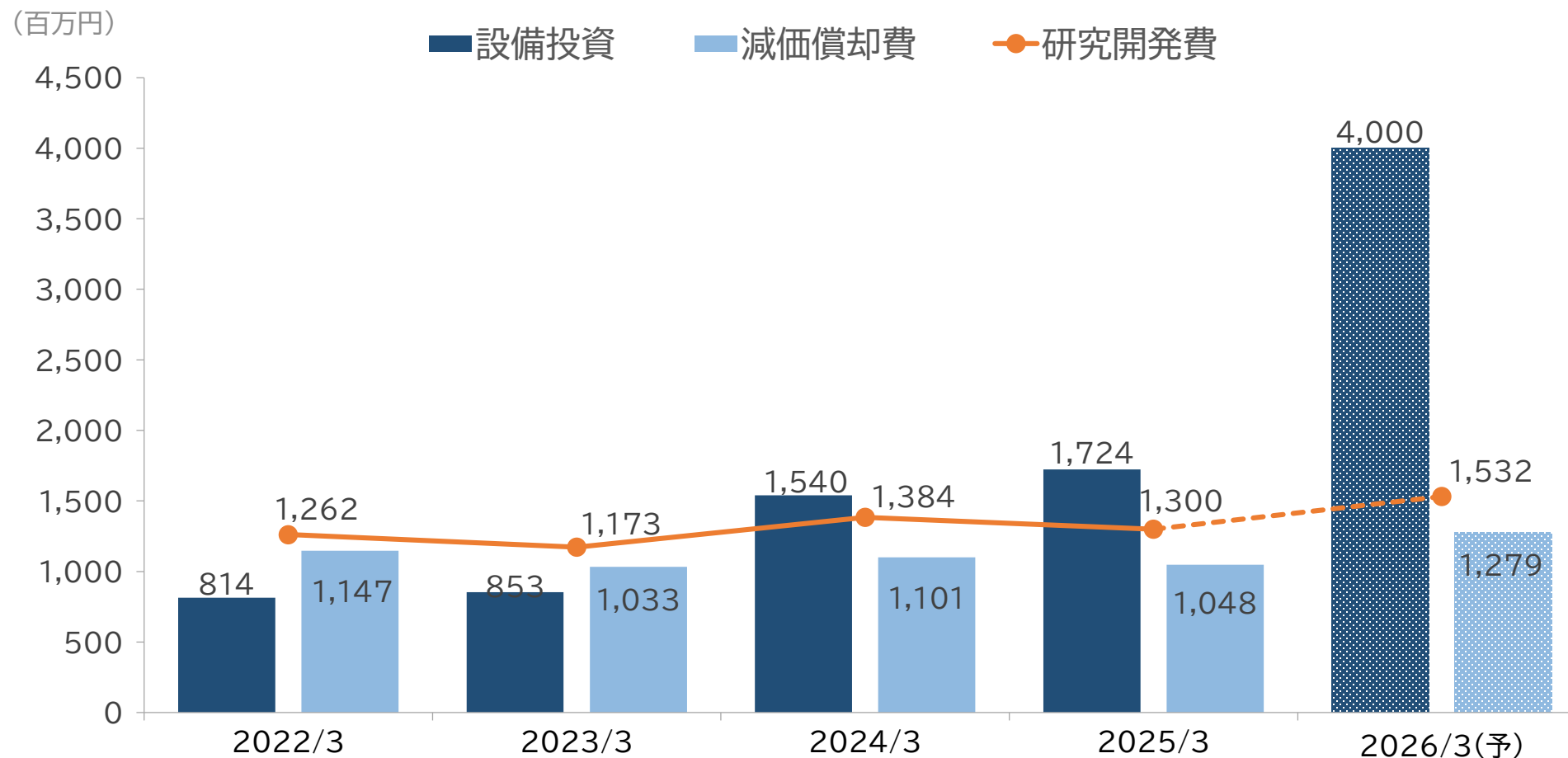
予想営業利益増減要因分析

【営業利益増減要因(予想)】



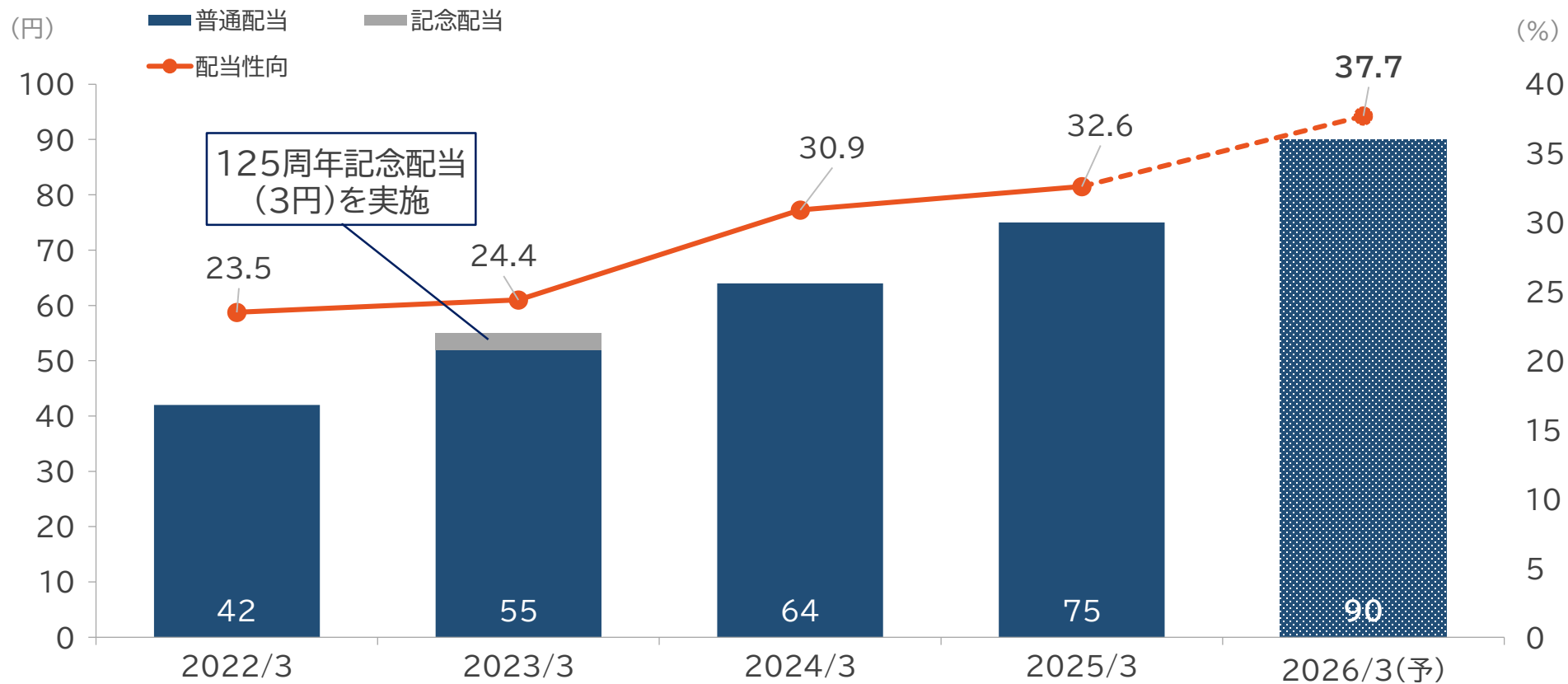
設備投資・減価償却費・研究開発費推移

- ◆ 設備投資は「本社工場リニューアル」に着手するほか、スマートメーター・海外市場向け製品の「生産能力増強」「合理化対応」などを計画



株主還元

◆ 安定配当を実施しつつ、配当性向の引き上げを行う
(中期経営計画2026期間中に配当性向40%を目指す)



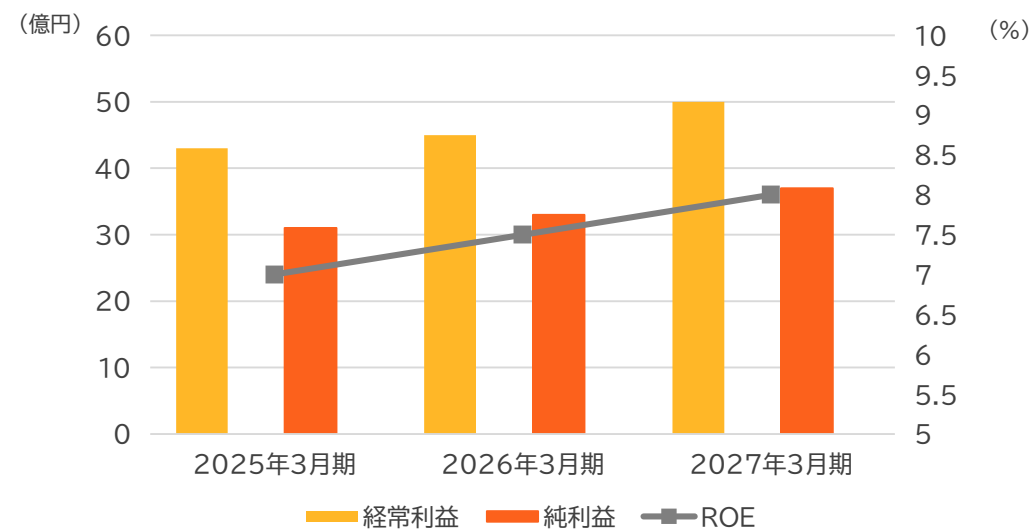
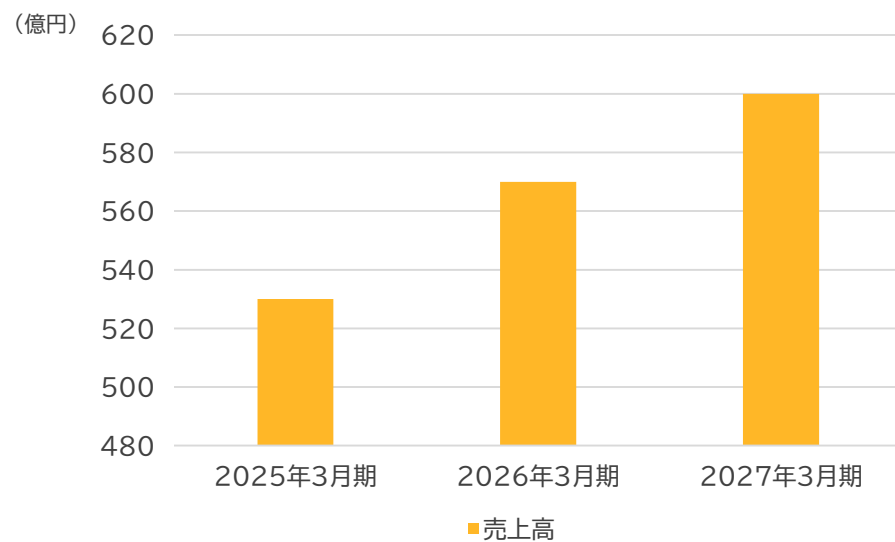
※2022年2月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。
2022年3月期の配当については、株式分割を考慮した数値を記載しております。

4.中期経営計画2026の進捗

中期経営計画2026 経営目標

(億円)

	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
売上高	530	570	600
経常利益	43	45	50
純利益	31	33	37
ROE	7.0%	7.5%	8.0%



中期経営計画2026 実績

◆初年度(2025年3月期)は全ての経営目標を達成

◆増収効果に加え、政策保有株式の売却も推し進め、利益増を実現

売上高

(億円)

経常利益

(億円)

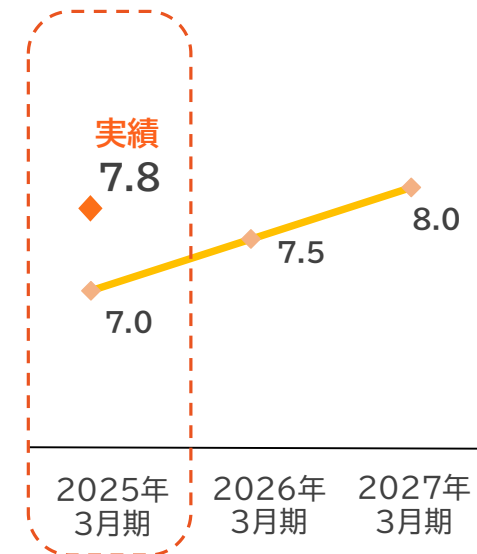
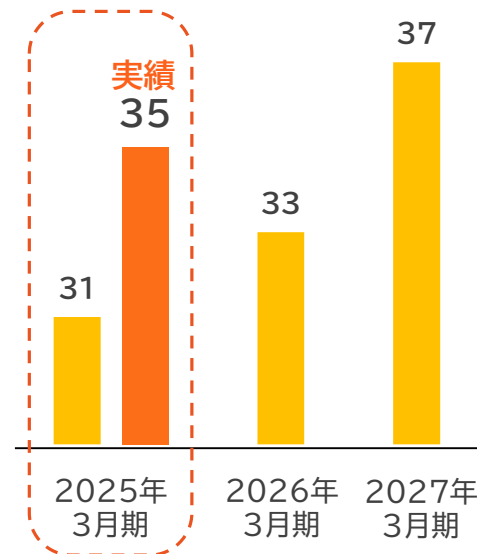
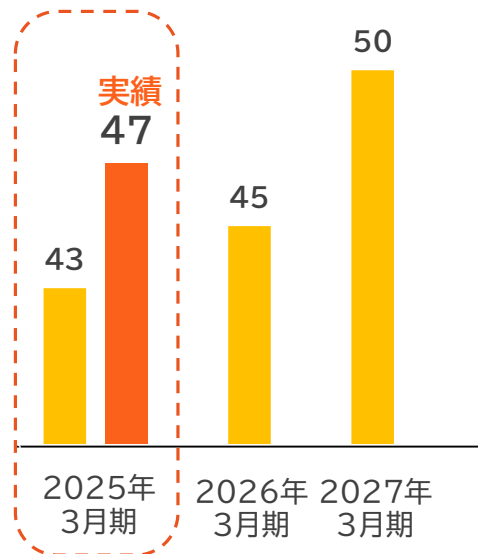
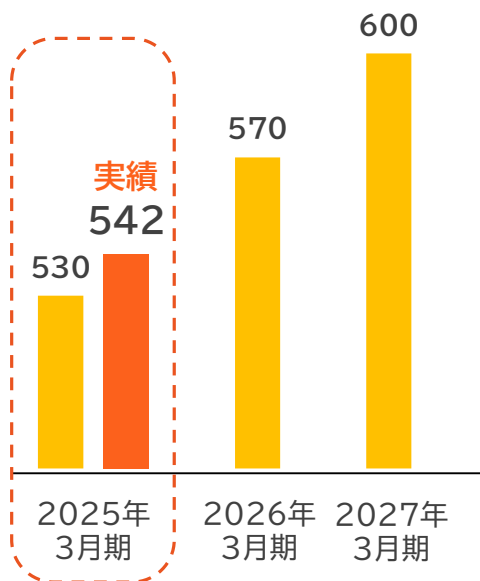
純利益

(億円)

ROE

(%)

中計目標



中期経営計画2026 事業戦略の進捗状況

計測分野における新しい価値の創出

データ配信サービスの幅広い展開で市場拡大を加速

LPガス市場の拡大

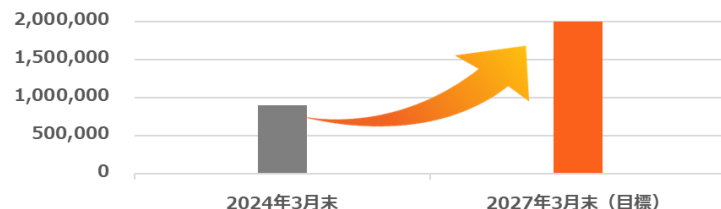
関連サービスとの
連携による利便性向上

アイチクラウド

都市ガス、水道分野
への積極展開

AI技術との組み合わせ
によるデータ価値最大化

累計接続台数



目標

2027年3月末までに
累計 **200万台**

Topics

- ◆データ配信サービスは計画どおり拡大、クラウド接続数累計**120万台**を突破
- ◆2025年2月より都市ガス向けデータ配信サービスの運用を開始

グローバル展開の加速

製品の市場競争力向上・各地域のお客様との価値共有



- ・サプライヤーを含めた生産体制の最適化を推進
- ・それぞれの地域に求められる機能、仕様を実現

目標

海外売上高 **5,500百万円**

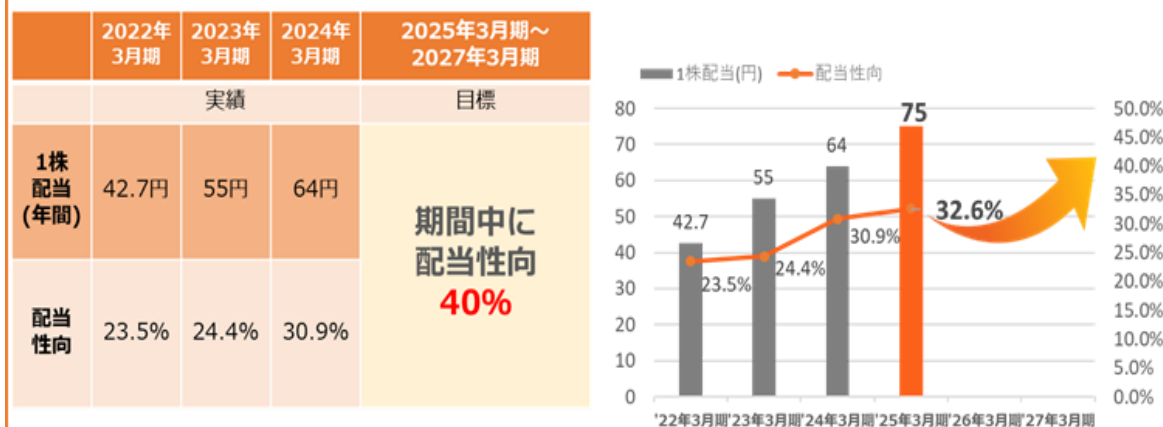
(2024年3月期比+34%)

- ◆タイ、ベトナムを中心に**東南アジア向け水道メーター**が前年比大幅増
- ◆中国(深圳)に設立した**合併会社**によるガスメーターの生産・販売を開始

中期経営計画2026 財務・資本戦略の進捗状況

株主還元

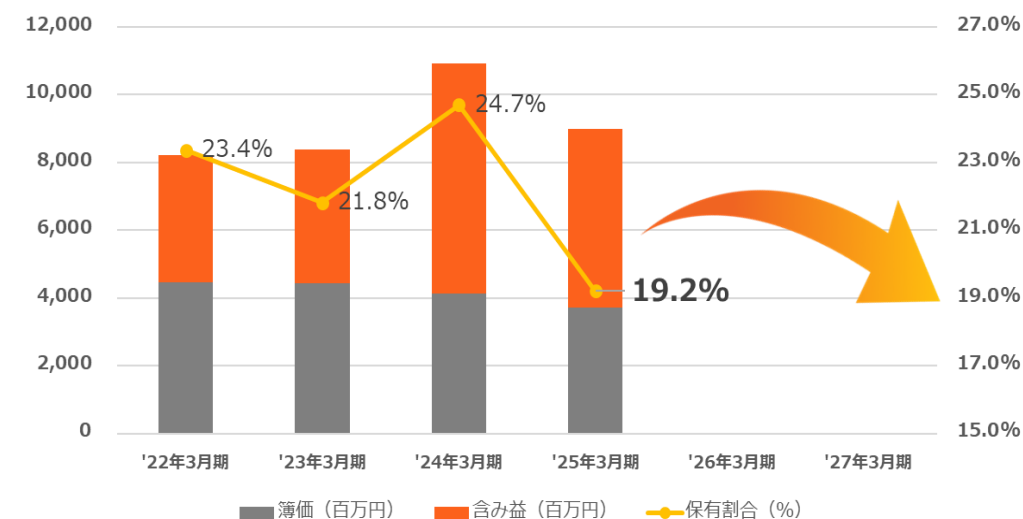
- ・財務および投資計画などを勘案し、安定配当を実施しつつ本計画期間中での配当性向引上げを目指す



※2022年2月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施したことから、'22年3月期の配当金について、当該株式分割を考慮した数値を記載しております

政策保有株式の継続的な縮減

- ・引き続き政策保有株式（みなし保有株式含む）の削減を進め、早期に連結純資産比率20%未満を目指す



Topics

◆前期配当64円・配当性向30.9%から、**今期配当75円・配当性向32.6%へ増配**

◆2026年3月期は配当90円・配当性向37.7%を見込む

◆政策保有株式の売却を促進し、純資産比24.7%から**19.2%と初年度に「20%未満」達成**

将来見通しに関する注記事項

本資料に掲載されている計画数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

